



2026年1月期（42期） 決算説明資料

株式会社ACCESS（4813）

2026年3月

ACCESS™

©ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

Agenda

1. 2026年1月期（42期）業績
2. 通期業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

売上高 **19,215**百万円 **前年同期比 +20.6%**

営業損益 **▲2,688**百万円 **前年同期比 ▲429百万円**

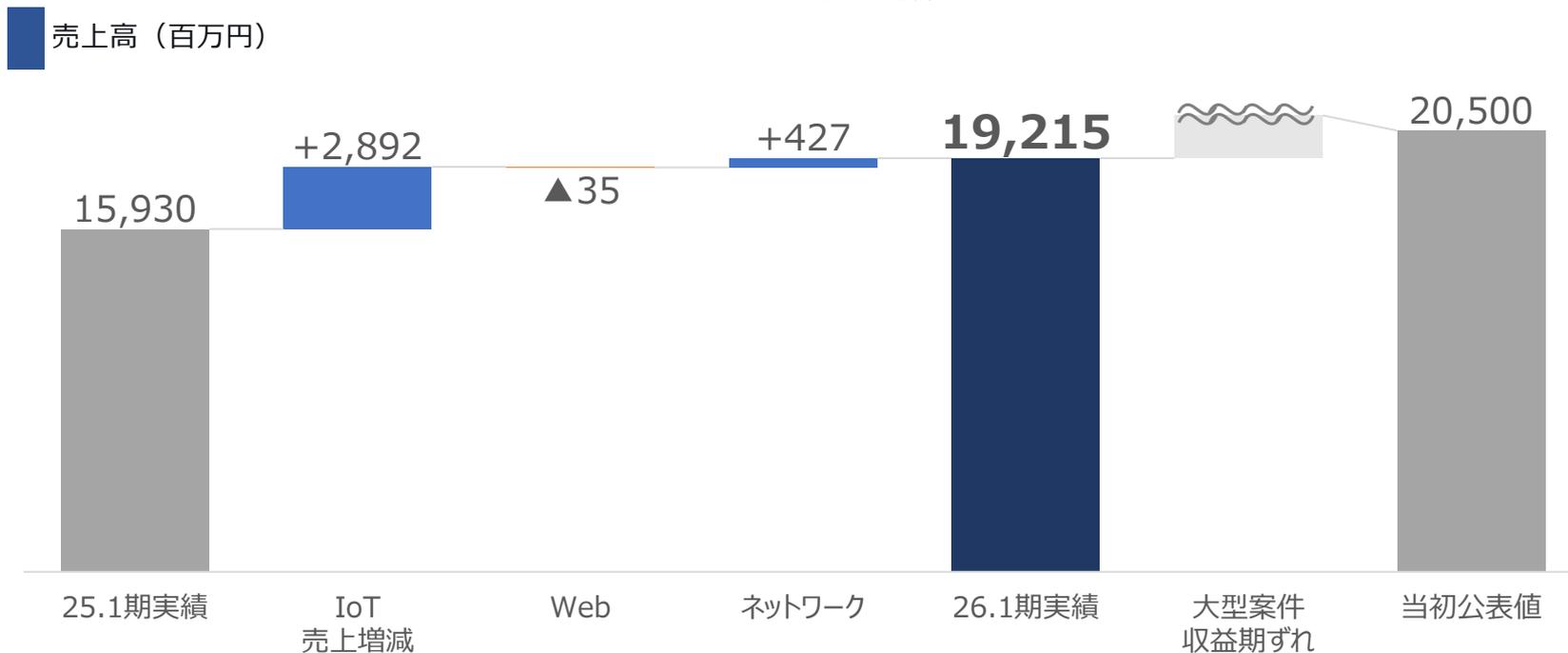
- ・ IoT事業が好調に推移、またネットワーク事業で大型案件を受注
- ・ 研究開発費等や内部統制改善費用の増加もあり赤字拡大

01

2026年1月期（42期）業績

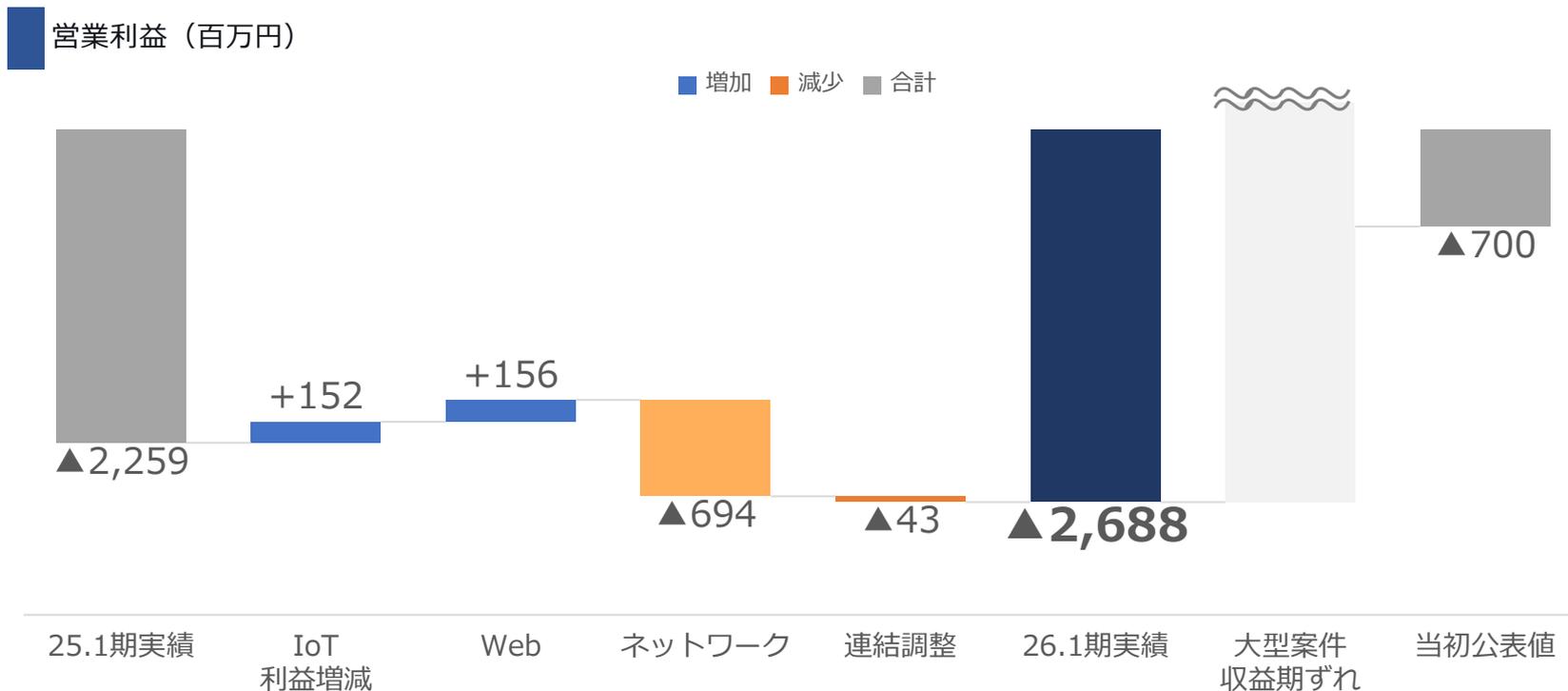
IoT事業の大幅増もあり、前期比では20%超成長

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

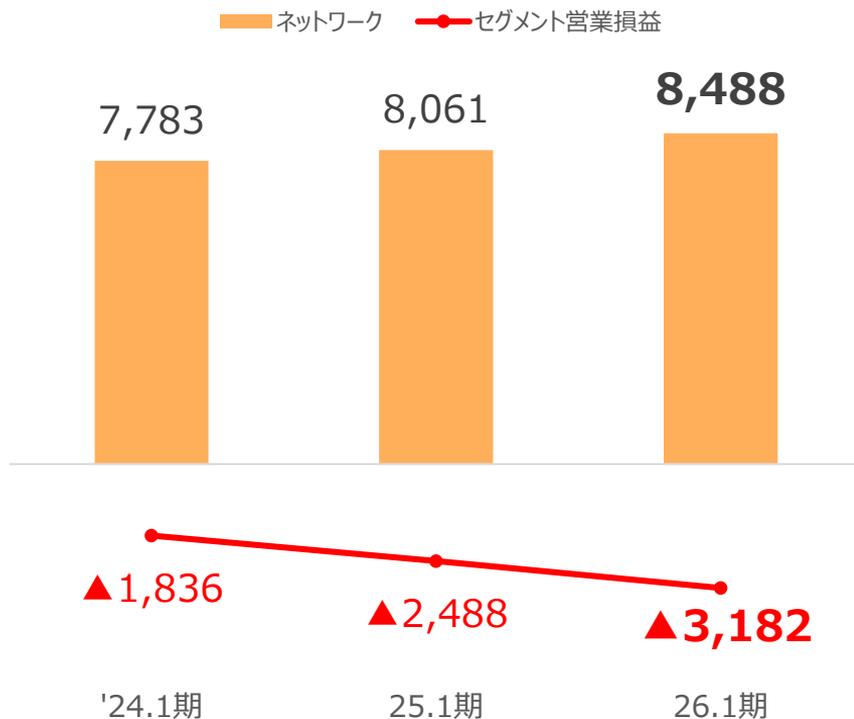


赤字が拡大したが、ネットワーク事業の大型案件からの収益の一部が期ずれしたことを除けば当初公表の計画を達成

(1/30取り下げ)



売上高・セグメント営業損益（百万円）



- ・ ホワイトボックス向けネットワーク OS「OcNOS[®]」の事業成長
- ・ 26.1期において総額70百万米ドルの大型案件を受注

ネットワーク事業

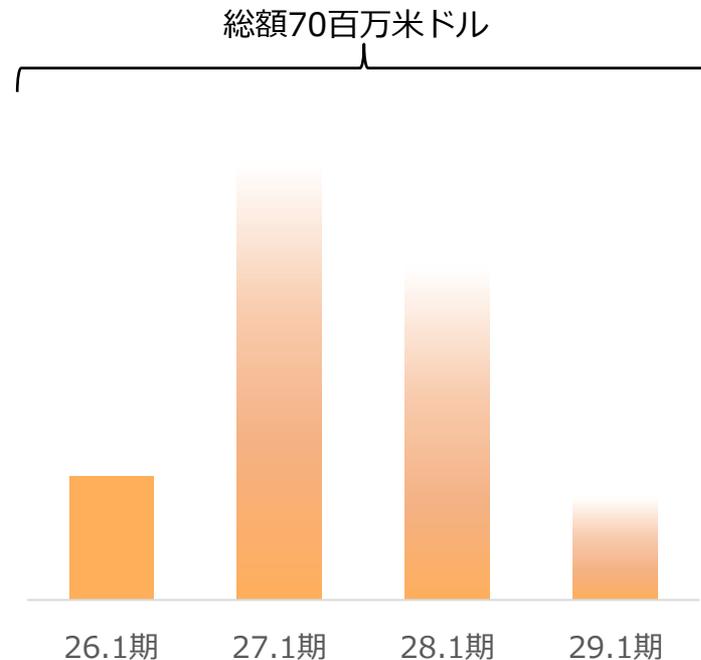
- ・ 堅調に推移しているものの、大型案件に関わる収益認識のタイミングもあり、26.1期の売上成長は一定水準となった
- ・ 研究開発費等の先行投資や内部統制改善等の費用増もあり赤字が拡大
- ・ 27.1期については大型案件における収益認識の影響もあり、大きな売上増を想定

- ・ Evollabs社から総額70百万米ドルの大型案件を受注
- ・ 主として27.1期と28.1期に収益認識される予定

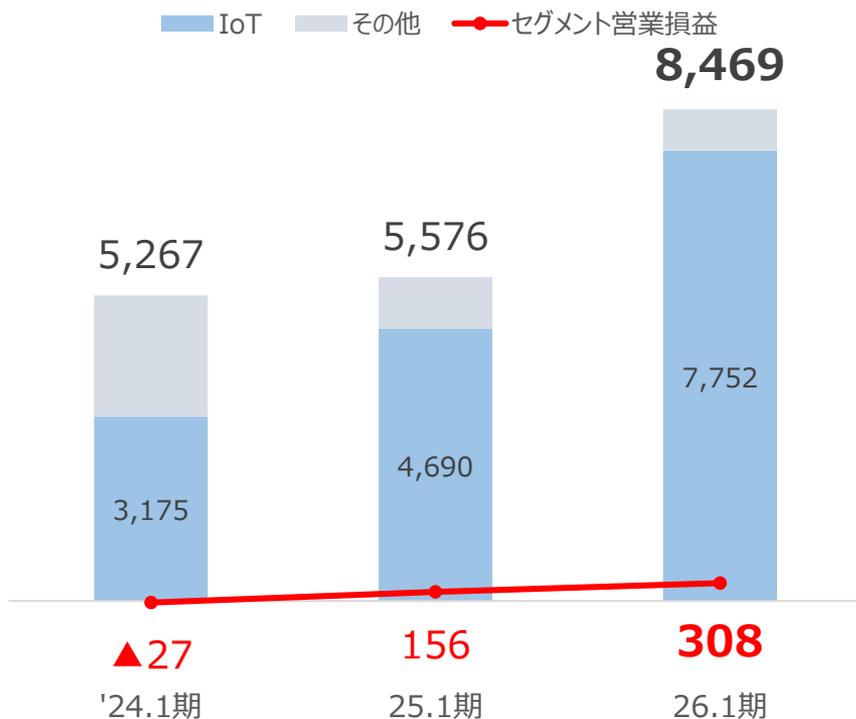
■取引概要

相手先	Evollabs Tech FZ-LLC (アラブ首長国連邦・ドバイ)
契約規模	総額 70百万米ドル (期間：3年間)
契約形態	ライセンス提供、保守・サポート、追加機能開発（プロフェッショナルサービス）の包括契約
背景及び戦略的意義	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI向けデータセンター投資の活発化に伴う、ホワイトボックス型ネットワーク機器の需要急増 ・ IPIの統合ネットワークOS「OcNOS®」の優位性と、Evollabs社の中東地域を中心とした事業展開戦略が合致 ・ 本契約により、3カ年にわたる強固なパートナーシップを構築し、ロードマップに基づく共同開発を推進

■収益認識イメージ



売上高・セグメント営業損益（百万円）

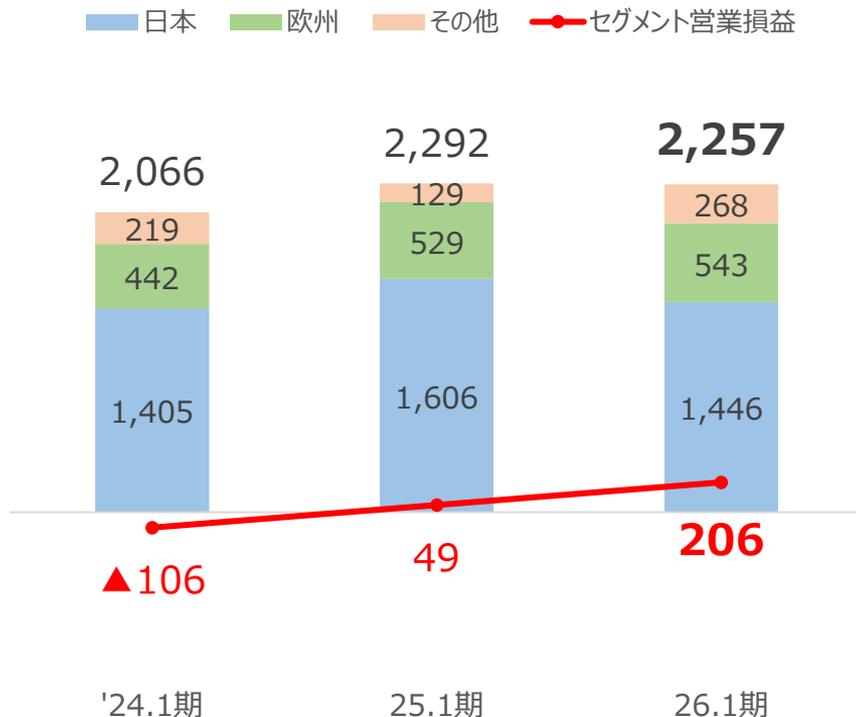


IoTプロフェッショナルサービスが
堅調に推移したのに加え、大型案件
が寄与し大幅に売上増

IoT分野

- ・ 前年に受注した大型案件の納品及び顧客側のサービス提供開始が26.1期の売上増に大きく寄与
- ・ 主力のIoTプロフェッショナルサービス*の売上が安定成長し収益を下支え
*オーダーメイドの開発案件
- ・ 27.1期については大型案件の反動で売上は減少を想定するも、セールスマックスの変化もあり利益は増加を想定

売上高・セグメント営業損益（百万円）



売上高は前年同水準だが、欧州でのコスト削減効果等により増益

日本

- ・ 前期に計上した一過性の案件の反動等により、26.1期は前期比で減収
- ・ 車載向け案件は徐々に拡大しているものの、本格的な収益貢献には一定程度時間を要する
- ・ 27.1期はセールスマックスの影響もあり、外注費等の原価が増加し、利益は減少を想定

欧州・その他

- ・ 欧州でのリストラに伴うコスト削減効果もあり収益性が改善

02

次期業績予想

・引き続き売上成長を維持し、黒字化を想定

(百万円)	2026年1月期 通期	2027年1月期 上期	2027年1月期 通期	前期比
売上高	19,215	10,800	23,000	+3,784 / +19.7%
営業利益	▲2,688	▲300	800	+3,488 / —
経常利益	▲2,635	▲280	840	+3,475 / —
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲3,398	▲385	610	+4,008 / —

- ・ ネットワーク事業で大幅な売上増を想定
- ・ IoT事業は前期の大型案件の反動影響を受ける

(百万円)		2026年1月期	2027年1月期	前期比
ネットワーク 事業	売上高	8,488	13,000	+4,511 / +53.1%
	セグメント利益	▲3,182	400	+3,582 / -
IoT事業	売上高	8,469	7,650	▲819 / ▲9.7%
	セグメント利益	308	350	+41 / +13.4%
Web プラットフォーム 事業	売上高	2,257	2,350	+92 / +4.1%
	セグメント利益	206	50	▲156 / ▲75.7%

03

事業概況

ネットワーク事業

- ・ ネットワークスイッチ*向けのソフトウェア提供から事業スタート
*ネットワーク間の通信を行うための機器
- ・ キャリア品質のソフトウェアを提供する技術力と実績に強み
- ・ ソフトとハードを分離するWhitebox向けネットワークOS「OcNOS[®]」の事業育成に注力



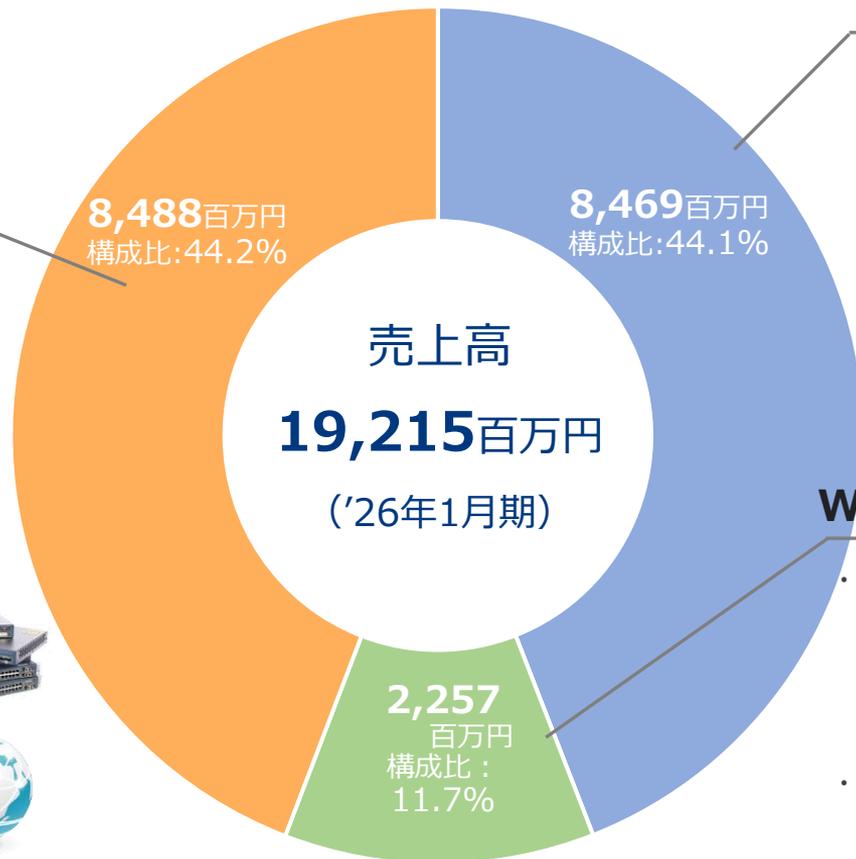
ipinfusionTM
An ACCESS Company

IoT事業

- ・ IoTプロフェッショナルサービスを主軸に、中長期的には自社製品・サービスを育成
- ・ 技術/アーキテクチャ検討力を強みに、通信、クラウド、アプリ等をワンストップで提供可能

Webプラットフォーム事業

- ・ 15億台以上への搭載実績がありデファクトスタンダードの地位を確立している組み込みブラウザ「NetFront[®] Browser」シリーズを主軸に事業展開
- ・ TVと車載エンターテインメントが主な市場



Whitebox向けソリューションのリーディングカンパニーとして、ネットワークOS「OcNOS®」を提供し市場開拓に注力

Whiteboxとは

ソフトウェアとハードウェアが一体化された従来型のネットワークスイッチに対し、ソフトとハードが分離されたネットワークスイッチ



ユーザー（通信キャリアやデータセンター事業者等）へのWhiteboxの訴求点

コストの低減

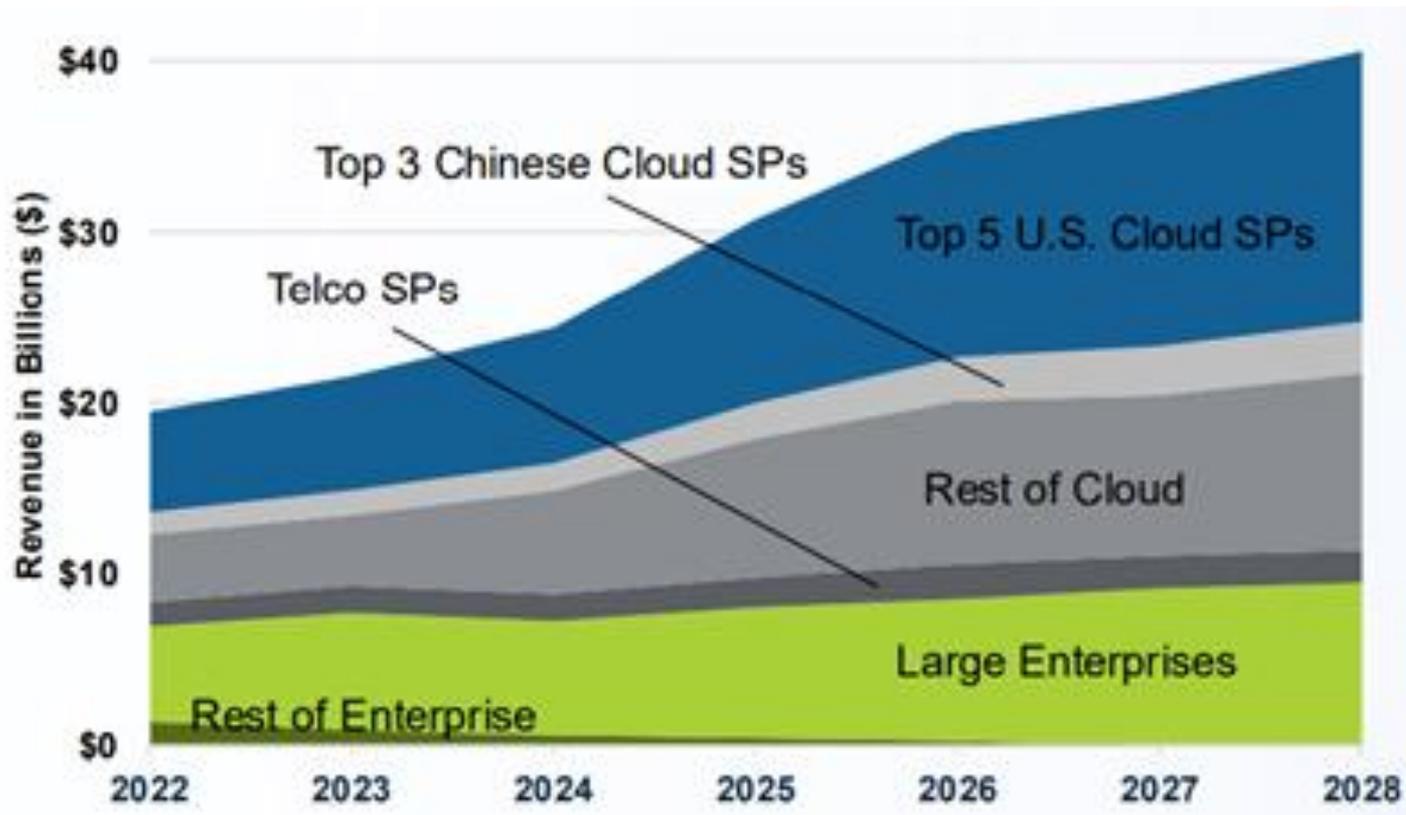
運用における
自由度向上

従来型機器：専用ハードウェアと専用ソフトウェアをセットで提供



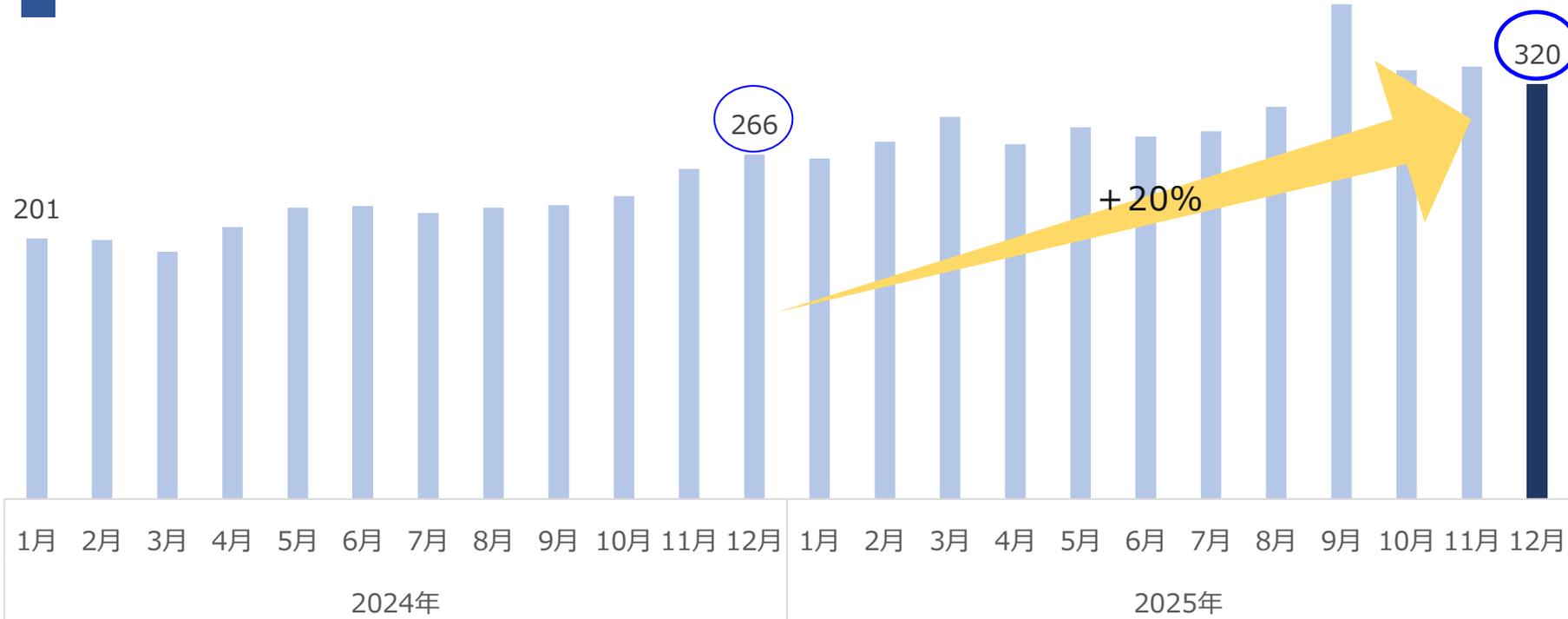
Whitebox型：汎用ハードウェアとソフトウェアを分離して提供





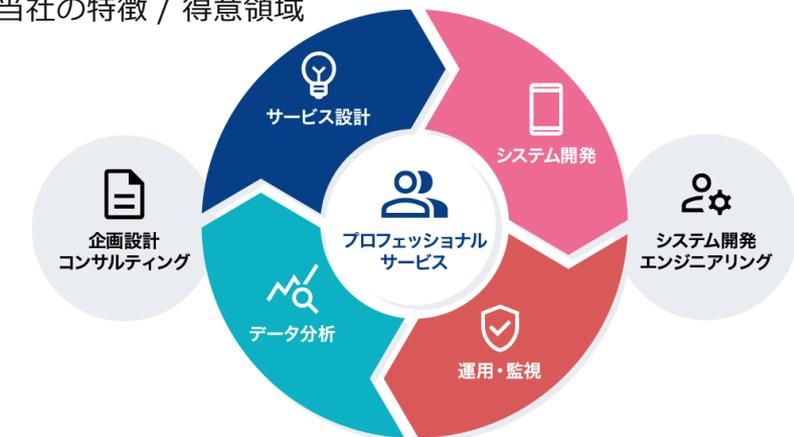
2025年12月時点で320mil USDの潜在案件額（1年以内の受注を見込む引き合い等の合計であり、未受注の案件）
大型案件受注で10月に減少するも、前年同時期比で約20%増加

■ 案件パイプライン（USD mil.）

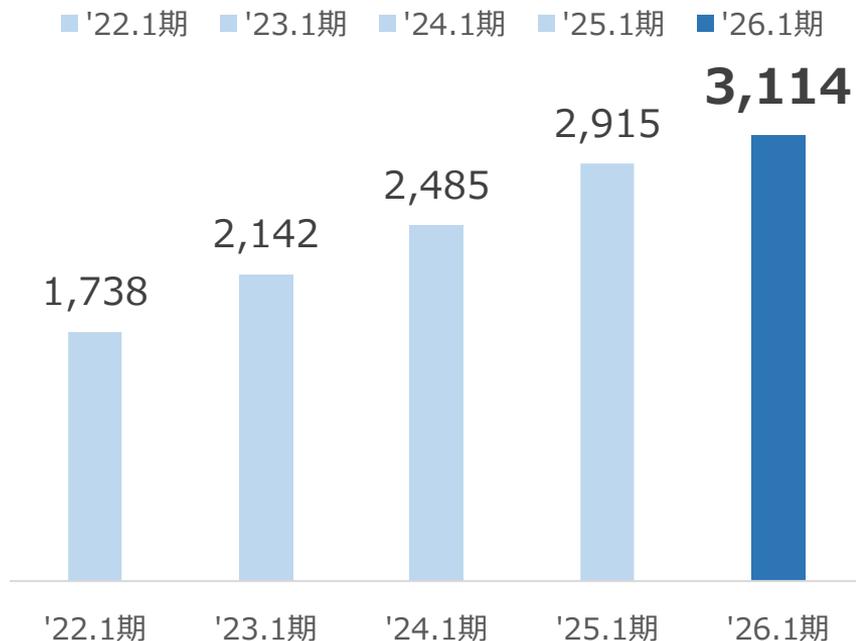


デバイスからクラウド、アプリまでをワンストップで提供できる 高付加価値なプロフェッショナルサービスを軸に事業拡大

当社の特徴 / 得意領域



IoTプロフェッショナルサービス実績推移(百万円)



ブラウザコンポーネントの提供から 動画/コンテンツ配信プラットフォームへ事業拡大

ブラウザの提供実績



スマートTV



コネクテッドカー



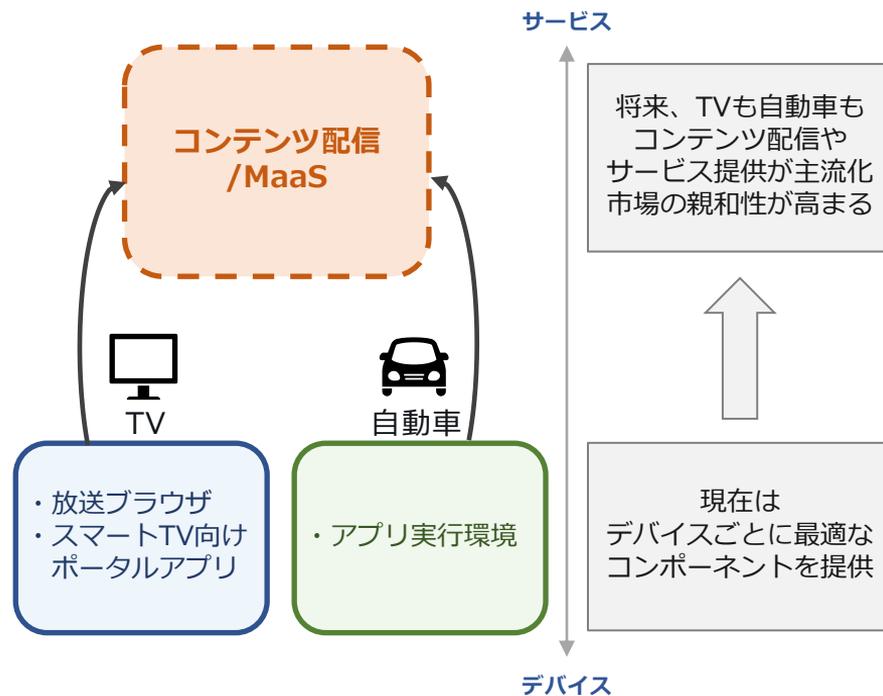
ゲーム機



産業機器

- 日本のTVの約8割になんらかのACCESS製品が搭載
- 車載は世界のトップ10メーカーのうち4社と取引実績

事業の展望



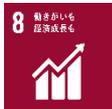
04

Appendix

サステナビリティ関連の取り組み

基本方針

「技術」「知恵」「創造性」と「勇気」で世界を革新し続ける独立系、企画・研究型企業というVision Statementのもと、IoT化を支える技術・製品を開発・提供し続けることにより社会の変革と新たな価値創造に貢献するとともに、ガラパゴス化に陥ることなくグローバルにスケールするビジネスモデルを構築し、企業価値の向上を目指してまいりました。引き続きこれらの実現に取り組むとともに、持続的な開発目標（SDGs）やESGを経営に取り入れ、サステナブルな社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

分類	主な取り組み	関連SDGs/ESG
<p>【Environment】 事業活動を通じて、社会・経済の発展と地球環境の維持・保全を両立した「持続可能な社会の実現」に貢献するため、環境負荷の低減を含めた様々な社会課題の解決に向けた取り組みを推進</p>	<p>温室効果ガスの排出量削減及び省エネルギーに向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCFD提言に基づく気候関連情報開示 ・オフィスの環境負荷軽減 ・環境関連法規等の順守・教育の実施 <p>事業を通じた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーマネジメントソリューションの開発 ・データセンターへのWhiteboxソリューション導入推進や低消費電力スイッチ・ルーター等の開発 等 	  
<p>【Social】 当社の企業理念実現に向けた人材マネジメントの基本的な方針策定・知的財産に関する基本方針の策定</p>	<p>人的資本に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権の尊重 ・ダイバーシティの推進 ・人材育成、働きやすい環境づくり ・健康・安全への取り組み <p>知的財産に関する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産に関する管理・推進体制の構築 ・他社の知的財産の尊重 ・知的財産に関する継続的な教育 	   
<p>【Governance】 企業価値向上に向けたガバナンス強化・充実施策等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コーポレート・ガバナンス強化に向けた体制構築 ・定期的な取締役会実効性評価の実施 ・「公正性」「透明性」を確保した役員報酬の決定プロセス構築 ・コンプライアンス・リスク管理委員会による全社的なリスク把握とモニタリングの実施等による内部統制充実 ・各種通報窓口の整備 	

- 本資料に含まれる業績目標等、将来に関する記述については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社グループで判断したものです。
- 将来に関する記述には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績は記載内容と異なる場合がございますので、本資料の記載内容に全面的に依拠して、投資等の判断を行うことは差し控えてください。

- ACCESS、ACCESSロゴ、NetFront、CROSは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標又は登録商標です。
- ACCESS Twineは、ACCESS Europe GmbHの欧州連合及びその他の国における商標又は登録商標です。
- IP Infusion、IP Infusionロゴ、ZebOS、OcNOSは、IP Infusion Inc.の米国及びその他の国における商標又は登録商標です。
- その他、文中に記載されている商標、会社名およびロゴマークは、それぞれ所有する会社に帰属します。